

## 1. 目的

- 1：自宅及び通所における利用者特性別にみた日常生活状況の違いを把握する。
- 2：日常生活状況の経時変化と利用者特性との関係を分析する。
- 3：宅配リハの効果を検証する。

## 2. 対象及び方法

### 1) 対象

夢のみずうみ村の通所介護施設（山口・防府・浦安・富山）をご利用している全利用者及びご家族を対象に実施。全利用数：計 1309 名

### 2) 方法

アンケート調査、及び調査対象の「生活行為訪問サービス」を実施。  
期間は平成 23 年 10 月 3 日から平成 24 年 3 月 12 日の 6 ヶ月間実施。

#### ①基本調査票

- ・ADL 等およびサービス受給状況モニタリング票

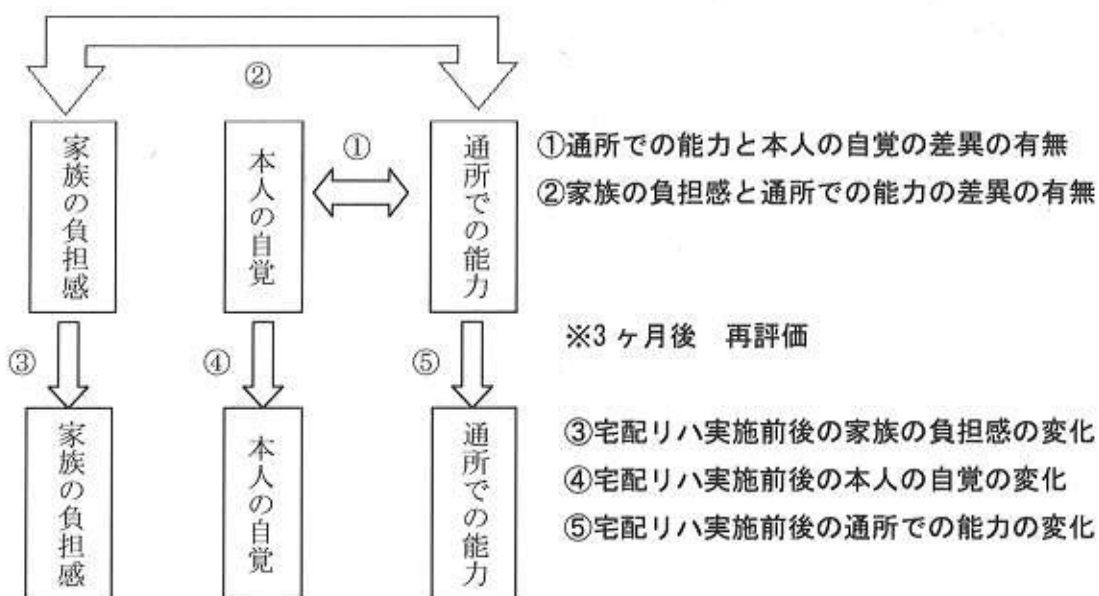
#### ②アンケート調査

- ・日常生活状況／心身機能に関するアンケート調査
  - ・介助の実施状況と負担感に関するアンケート調査
- 上記のアンケート調査票は後日、回収した。

### 3) 主な調査内容

#### ○アンケート調査内容

各通所施設での能力（できる動作）、本人の自覚度、家族の介護負担感との解離現象を分析し、施設と自宅との差異を調査する。



#### ○生活行為訪問サービス

「生活行為」とは、入浴、更衣、排泄、食事、移動などのADL（日常生活動作）と、買い物、家事、旅行、家計のやりくり、薬の管理などのIADL（手段的日常生活行為）を包括した行為と考えます。「生活行為訪問サービス」とは、在宅生活を活発に展開し、家庭内においても、家庭の外に出て行っても、活発・自由に、充実した在宅生活を過ごして頂くことを目的とする支援です。

生活行為訪問サービスは、大きく以下の4つの内容がある。

##### ① 在宅訪問指導

・通所施設において、指導支援した職員が直接訪問する。通所内自立を目指す。

##### ② 通所施設内での成功体験

・家庭内で指導支援している生活行為の獲得・自立が難しい場合、定期の通所の機会に、施設内において繰り返し実施し、成功体験をしていただく。

##### ③ 成功体験の自宅還元

・自宅において達成出来るように取り組む。

##### ④ 宅配リハビリテーション

・日常生活行為を自宅へ持ち帰り、家族を巻き込んで生活の活発化する。

○調査対象者の条件

調査票をもとに、日常生活状況等に「自宅」と「通所」で差異がある方  
日常生活動作で困難なことがある方

○実施方法

各通所介護施設の職員が利用者の自宅に訪問して指導を実施した。その後も通所施設内でアプローチを継続的に行い、3 か月後に再度自宅に訪問して実際に利用者が自立に近づけることが可能になったか評価をした。

○訪問の内容

- ①入浴（浴槽内に入る動作）
- ②立ち上がり（床からの立ち上がり）
- ③更衣

4) 回収状況

表 1. 各施設のアンケート回収率（初回）

	配布	回収	回収率
山口デイ	392	283	73.9%
防府デイ	424	319	78.5%
浦安デイ	117	92	78.6%
富山(通所リハ)	176	142	80.6%
(デイ)	200	136	68%
合計	1309	1028	78.5%

表 2. 各施設のアンケート回収率（3ヶ月後）

	配布	回収	回収率
山口デイ	283	215	75.9%
防府デイ	319	221	69.3%
浦安デイ	92	58	63%
富山(通所リハ)	142	100	70.4%
(デイ)	136	110	80.8%
合計	1028	704	68.4%